

2025 年度地域連携推進会議

日時 令和 8 年 2 月 11 日 10:30～

場所 みどり台南町内会館

構成員 (株)椿の会 代表取締役 山崎一樹

(株)椿の会 統括責任者兼こち主任 長谷川聡

(株)椿の会 えにわくらぶ主任 山本亜美

(株)椿の会 第二ちとせくらぶ主任 山崎真紀

地域より 教育委員会委員 1 名・地域企業社員 1 名

利用者保護者様 えにわくらぶ 2 名 第二ちとせくらぶ 2 名 こち 3 名

会議内容

- 自己紹介
- 設置の目的・役割・概要説明
- 今回の議題討論
 - ・施設等・地域の連携について
 - ・施設等やサービスの透明性・質の確保について
 - ・利用者の権利擁護について
- 今会議における個人情報の取り扱いについて
- 各施設見学

議事録

○設置の目的・役割・概要

今会議は、事業所と地域の連携を図り、透明性のある事業所運営を行なっていくこと、外部の知見を取り入れ、利用者の権利擁護をより強固にし、地域の理解を得ながら質の良いサービスを提供していくことを目的とし、構成員が中心となり、進めていくことを役割とする。構成員は経営者、施設職員、利用者又は利用者家族、地域関係者等を配置する。会議は年度に 1 回以上行ない、あわせて各施設の見学も行なう。

○施設等・地域の連携

・障がいについて

各施設に 30～40 名の利用者があり、児童発達支援にあたる未就学児と放課後等デイサービスにあたる小中学生・高校生が 1 日 10 名前後利用している。障害の種類としては、発達・知的に課題を持つ利用者の割合が多く、他には肢体不自由児や学習に遅れのある利用者やグレーゾーンの利用者も在籍している。

・近隣からの苦情等の共有

今年度の地域からの苦情はなかった。住宅地の一角に施設があるため、近隣の住宅や店舗

との必要事項の共有や円滑なコミュニケーションを継続していきたい。

・地域行事のご案内

今年度の取り組みとして、千歳市在住のリズムトレーナー、文教大学の学生や部活動とタイアップし、運動療育を行なった。また、千歳市内の他事業所と合同で室内運動会を開催し、保護者をお招きし、交流を図った。各施設で保護者交流会を実施し、保護者同士の困りごとや知識の共有を行なった。

○施設等やサービスの透明性・質の確保について

・利用者の日常生活の様子について

各利用者ごとに保護者とのモニタリングを基に作成された個別支援計画に沿い、ニーズと特性に合わせた療育活動を行なっている。具体的には学習支援や身辺自立活動、運動療育、コミュニケーション力向上の支援を行なっている。休日はイベントを企画し、戸外活動を取り入れている。

・BCPの策定状況について

BCP（事業継続計画）とは、災害や感染症等の緊急事態時に利用者の安全確保と支援を継続し、一刻も早い日常の復帰を目指すための計画として、2024年4月より義務化されたものである。災害時の避難、連絡伝達のマニュアルや半年に1回の避難訓練の実施、感染症発生時の施設対応や嘔吐対応のマニュアルを各施設の特性や体制に応じたものを作成し、保管し、適宜見直しや改善を行なっている。

○利用者の権利擁護について

・虐待、事故、ヒヤリハットについて

虐待に関して、地域での虐待防止会議や研修会への参加を積極的に行なっている。また、虐待防止委員会、身体拘束適正委員会を設置し、各施設での支援や身体拘束で虐待にあたるものがないかを協議している。

ヒヤリハットに関して、支援中の事象の中で適宜ヒヤリハットを抽出し、記録し、保管をしている。特に多いのは戸外活動時の外出先や公道での行動・転倒、利用者同士のトラブルの発展が多くを占めている。

・支援者の様子

支援者は児童発達支援管理責任者を中心に、管理者、支援主任、保育士、教員免許保持者、児童指導員、指導員を配置している。支援は担当者を中心に個別支援や学習支援、余暇活動の見守り支援を行ない、利用者のいない時間帯は個別支援計画の作成やイベントの企画、配布物の作成等、施設運営成立のための業務を分担して行なっている。

・事業所評価について

今年度の事業所運営に関しての事業所評価を全家庭に配布し、3月末に当社HPに掲載予定。また、昨年度の結果も掲載済み。

○今会議における個人情報の取り扱いについて

- ・今会議で取り扱う内容の秘密保持のご理解をお願い申し上げます。
- ・資料は会議終了後、回収させていただきます。
- ・議事録は当社HPにて掲載いたしますが、個人名は公表いたしません。

○施設見学について

○質疑・応答